

議会だより ひらびずみ

第163号

令和元年5月1日
定例会3月会議



- 主な内容
- 定例会3月会議
- 進む道路整備…2
- 予算特別委員会
- バランス重視の予算内容…4
- 一般質問
- ここが聞きたい
- 9議員が町政を問う…6

「道の駅平泉」 魅力ある産直を目指して

産直出荷者の皆さんは、お互い情報交換をしながら、全体のレベルアップを図ってきました。毎日携帯電話に届く、売れ具合の情報が励みになります。

「今年もがんばるぞ！」

私も ひとこと

平泉字志羅山
千葉 亨平さん



●今活動していることは
「若者会議」に参加して町から示されたテーマに意見を言っています。2年の任期と聞いていますが今後の展開がまったく見えていません。

●気になっていることは
若者会議はせっかくできた若者のための集まりなので、決められた施策に意見を言うだけでは

●議会や町に望むことは
問題に対して安易な対応をしないことです。町の行事の一つである水かけ神輿で、中尊寺月見坂では神輿に水をかけないことになったのはとても残念です。また若者が行事に参加するときに、もう少し詳しい説明が欲しいです。運営側と参加者もコミュニケーションが不足していると思います。

長島字二反田
小笠原 舞さん



●今活動していることは
昨年「若者会議」に参加しています。町の取り組んでいる政策について、また平泉をどんな町にしたいか意見交換をしています。3回の会議では11名の参加者からたくさん

●気になっていることは
若者会議で私たちが出した意見やアイデアがどう生かされるのかまだ答えをもらっていないのが気になっています。

●議会や町に望むことは
若い世代には平泉町にぜひ住んでほしいと思っています。住みたくなる町にするには、天候を気にしないで家族で楽しめる室内型のアミューズメントや、スポーツ施設があればいいですね。

「和からし」で平泉を発信

若者に任せてみては

また、平泉農産企画女子プロジェクト（農女）に参加しています。「平泉和からし」を使った「平泉からし肉まん」に続き、今は新商品を開発中です。

起業するためのアイデアや企画力を持っている町民に思い切って任せてみたらどうでしょうか。

表紙の紹介



レストランのおすすめ企画、土日ハイキングは地元生産者の旬の野菜を使ったオリジナルな料理が多く並び、とても好評です。

訪れていた女性グループの皆さんは「野菜サラダが新鮮とても美味しいです。」と話していました。

産直は昨年4月に出荷する農家の皆さんで「野菜部会」を作りました。役員会や研修会など、顔を合わせることで、情報交換ができ生産者同士とても良い雰囲気です。産直は道の駅の目玉です。ぜひ頑張ってください。

あとがき

道の駅平泉を取材してきました。スタッフ、出荷者、町の皆さんの協力で成り立っています。ぜひ、もっと魅力のある道の駅へ、町民も応援したいものです。

年度となり、今年度も緊張感のある議会活動の様子をお届けしたいと思います。町民の皆様のご意見をお待ちしています。

編集スタッフ

委員長	委員	副委員長	委員
升沢 博子	阿部 圭一	水室 裕史	寺崎 敏子

升沢 博子

議会だよりは再生紙を使用しています

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

過去最大! 一般会計予算が50億円台に進む 道路整備事業

定例会3月会議

議会定例会3月会議は3月5日から14日まで10日間の会期で開かれました。一般質問には9人の議員が登壇し、直面する町政課題、施政方針、教育行政方針などについて町の考えをたどりました。

平成31年度一般会計、特別会計の予算については、予算特別委員会を設置し、慎重審議の結果、全員賛成で原案どおり可決しました。

条例案件

- 特別職の給与等条例の一部改正（全員賛成）
 - ▽平成27年から減額していた町長、副町長、教育長の月額給料を引き上げるもの。
 - また、期末手当の支給率を引き上げるもの。
- 【月額報酬】
 - 町長：64万9800円
 - 副町長：53万2900円
 - 教育長：51万4900円
 - を54万2000円に、2万7100円の増。
- 【期末手当】
 - 町長、副町長、教育長の支給月数2.95月を3.35月に、0.4月分の増。



今年度から整備予定の町道ねずみ沢線(大沢)

問 役割を整理し、制定するものである。商工会以外の声はどのように汲み上げるのか。商工会だけを支援する条例にならないか。

答 商工会に加入していない事業者は企業訪問し意見を聞く。

問 駐車場条例の一部改正の審議

答 同一車両が他の駐車場を利用する

平成30年度各会計補正予算

会計区分	補正額	補正後予算額	
一般会計	△8980万円	49億8713万円	
特別会計	国民健康保険	△5296万円	8億5262万円
	後期高齢者医療	△27万円	8554万円
	健康福祉交流館	△129万円	6790万円
	町営駐車場	37万円	7844万円
	下水道事業	△804万円	3億519万円
農業集落排水事業	△45万円	7821万円	
企業会計（収益的経費）	△283万円	2億8297万円	
水道事業（資本的経費）	△2199万円	3億918万円	

●平泉町中小企業及び小規模企業振興条例（全員賛成）

▽中小企業及び小規模企業の振興に取り組み基本理念を定め、施策の指針とするもの。

●文化観光振興基金条例の一部改正（全員賛成）

▽条例の期限を3年延長するもの

●駐車場条例の一部改正（全員賛成）

▽同じ日に複数の町営駐車場を使用した場合の100円の割引を廃止するもの。

●道路占用料徴収条例の一部改正（全員賛成）

▽道路法施行令の改正に伴い、所要の整備を図るもの。

●町道の路線認定（全員賛成）

▽塩沢2号線として、新たに町道認定したもの。

●定住自立圏形成協定の一部変更（全員賛成）

▽一関市と協定している内容を新たに追加または変更し、生活基盤の強化を図るもの。

●議員報酬等条例の一部改正（全員賛成）

▽議員の期末手当の支給月数2.95月を3.35月に引き上げるもの。

補正予算

●平成30年度補正予算（全員賛成）

8会計でそれぞれ補正予算が上程されました。

一般会計の主な補正の内容は次のとおりです。

【歳入】

- ・財政調整基金繰入金 △1億1195万円
- 【歳出】
- ・平泉町地球温暖化対策実行計画策定委託料 △999万円

発議

●農村地域防災減災事業負担金（北照井堰） 2540万円

・スマートインターチェンジ周辺土地開発事業支援調整委託料 △536万円

質疑

問 平泉町中小企業及び小規模企業振興条例の審議

中小企業及び小規模企業振興条例には農業、6次産業も含まれるのか。

また、計画策定時に工商业者から意見を聞くことは。

答 町内の全域にわたる事業者が対象になる。制定後に具体化する作業で商工会などの事業者から意見を聞く。

問 町内企業が減っている中で条例制定であるが、条例の狙いは。

答 町内企業は減っているが店舗リフォーム補助などを行ってきた。中小企業の果た

事件案件

答 割引効果の調査はしていない。駐車場の散策ガイドなどで、町内を回遊する基盤が出来たので廃止に踏み切った。

問 補正予算の審議

スマートインターチェンジ周辺土地開発事業支援調整委託料が減額になっているのはなぜか。

答 当初、区画整理事業を考えての予算であったが、開発許可申請の方向に変更となるための減額である。現在大手企業3社、銀行5社が参画表明をしている。

請願審査

●医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願（賛成少数で不採択）

2022年度以降の医師養成定員減という方向

を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ、医師数をOECD（経済協力開発機構）平均以上の水準に増やすこと。

請願の審査を総務教民常任委員会に付託し、審査では次の理由により不採択すべきとの報告となりました。

本会議においては賛成と反対の討論が行われ、採決の結果、賛成少数で請願は不採択となりました。

不採択の理由

医師の労働環境の改善と地域の医師不足に対する対策として医師養成定員を増やすべきとする請願者の願意は理解するものである。

しかしながら、医師養成定員を増やすことだけでは解決できない地方における医師偏在の課題がある。現在「医師の働き方改革」や「医師偏在対策」の効果の検証中であることから、現段階において請願者の願意にそえない。

賛否のあった議題

議案	賛否のあった議題											採決結果				
	議員名	水室裕史	高橋拓生	阿部圭一	三枚山光裕	真籠光幸	高橋伸二	升沢博子	佐々木一治	佐々木雄一	千葉勝男		寺崎敏子	佐藤孝悟	賛成	反対
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願		×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	欠	—	4	6	不採択

※佐藤孝悟議員は、議長のため採決に加わっていません。寺崎敏子議員は、欠席です。その他の議案は出席議員全員が賛成で可決されました。

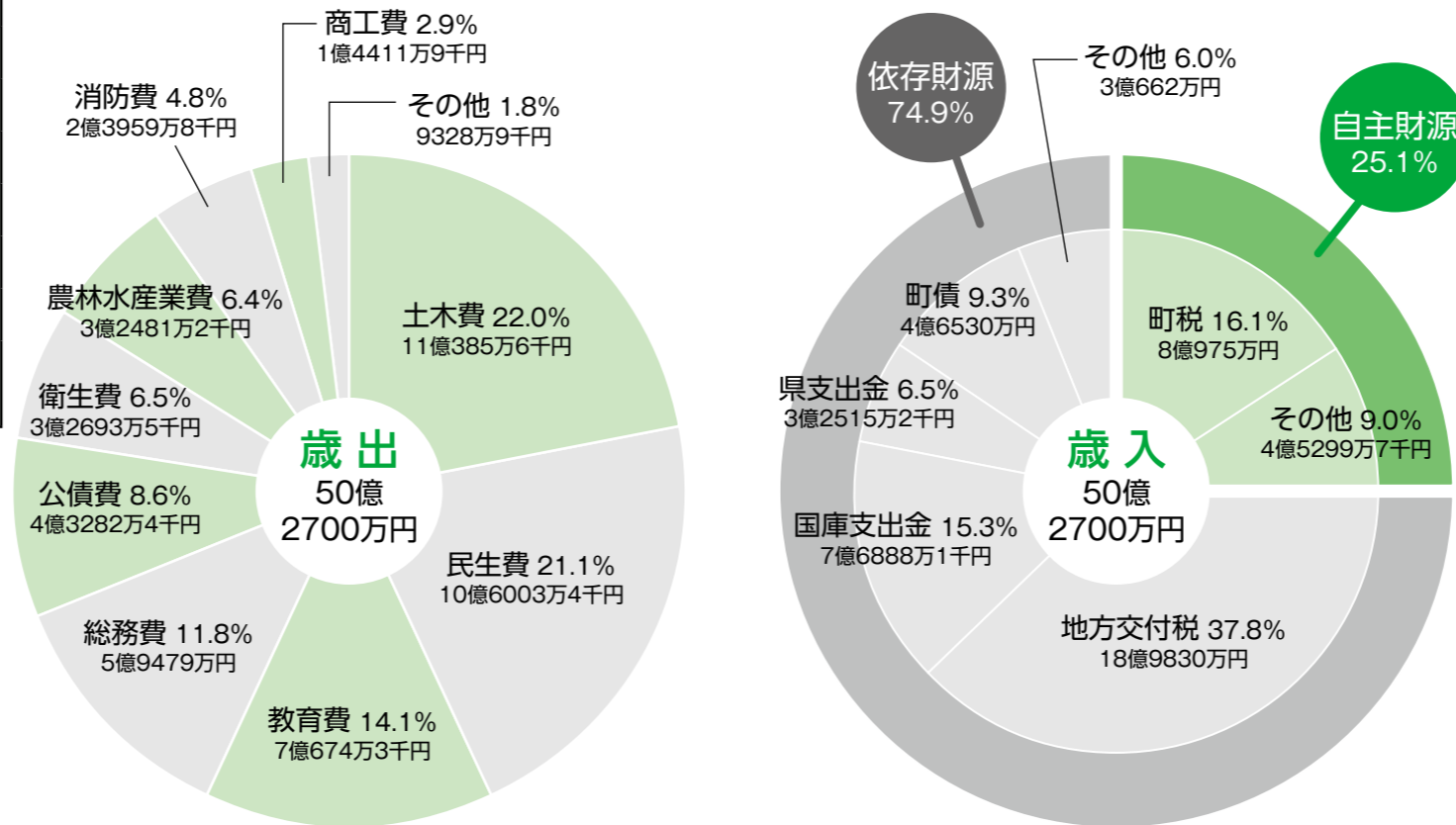
※定例会3月会議の会議内容は、表記を平成としています。

産業の振興と健康・福祉・子育てで 支援の充実 バランス重視の予算内容

平成31年度各会計予算額と採決状況

会計区分	予算額	前年度比	採決状況
一般会計	50億2700万円	4.4%	全員賛成で可決
特別会計			
国民健康保険	7億7120万円	△3.9%	〃
後期高齢者医療	8360万円	△0.9%	〃
健康福祉交流館	6950万円	5.5%	〃
町営駐車場	6830万円	△8.0%	〃
下水道事業	3億0050万円	△4.0%	〃
農業集落排水事業	7290万円	△7.3%	〃
水道事業会計(収益的経費)	2億8664万円	△0.5%	〃
(資本的経費)	3億4746万円	5.0%	〃

グラフで見る 31年度一般会計予算



委員長 佐々木雄一



副委員長 高橋 拓生

予算特別委員会は3月7日と8日の2日間の日程で開催され、一般会計や国民健康保険特別会計など8会計の平成31年度予算を集中審議しました。すべての会計予算案について、審査意見を付して、可決すべきものとして、全員の賛成となりました。

予算特別委員会

総括質疑

問 スマートインターチェンジにより、近隣住民の生活環境は変化するかと考えられるが、近隣住民の安心・安全な生活は担保されるべきである。そのことに尽力する意思と見解は。

答 一時的な交通量の増加に対しては課題が残ると考えられる。混雑状況を見つづ

公安委員会、道路管理者、県などとおわせて協議し、対策を立てていきたいと考える。

問 新社会教育施設の新設予定地に隣接する道路は、現状では狭いのではないかと。賑わいの場の中心になり得る場所である。拡幅すべきと考えるが見解は。

答 当面は現状の道路での程度の交通量が調査し、検討する。渋滞等が起こるようであれば、それに見合う対応をしていかなければならないと考える。

問 当町の財政状況は企業誘致、大型事業で投資的経費が非常に大きくなっていると財政計画で示されているが、その中で義務的経費が他の経費を圧迫しているか、また基金の残高は突発的な災害などに

答 義務的経費は優先的な形での予算措置をしなければならぬものである。そのため、その他の各担当部署で計画する施策的経費が、圧迫される可能性も考えられる。基金の残高は緊急的、大規模災害等が発生した場合に対応できるような予算措置として、3億から4億の額については常時確保するような形で、財政計画の中では努める考えである。

問 文化財の整備費の増額と新しい住宅政策の検討についての見解は。

答 平成31年度は住宅関係で発掘調査が8件予定されている。そのほかの無量光院跡等の調査も含めると、既に15件になっているため、事業費的には規模が拡大しているといえる。住宅改善事業にかわる新たな事業は、現段階において

対応できる額になっているのか。見解を伺う。

問 どのような事業がいいのか、必要性も含めて検討中である。住宅改善事業が終わる平成32年度には、その次に代わる事業が必要かどうかも含めて、はっきりさせたかと考えている。

答 企業誘致がその方策であると同時に喫緊の課題でもある。働く場を作ることに伴い、定住する方も増えてくるのではないかと考える。そういった意味では今後示す部分、さらに追加の部分も大きな事業になるのではないかと。いずれにせよ、現段階では企業誘致はしっかりと進めていくと考えている。

問 初年度は6次産業化についての支援の利用があったがその後が続いていない。そのため平成31年度は要件を緩和し、主要農産物の補助についても、さらにハードルを低くして対応しようと考えている。また、道の駅の野菜出荷者部会が昨年発足し平成31年度は少額の補助をし、出荷体制を整え今までのように多くの農産物が集まるような体制を整えようと考えている。

問 当町の単位老人クラブに対する助成は、県の基準と対比をしてみた場合に少し配慮が足りないのではないかと。昨年11月に町長と議長に出された要望書に対する対応を含めて、真剣に考えてはどうか。

問 自主財源の確保、いわゆる歳入の確保に対する見解は。

答 老人クラブが時に合った活動をしてほしいという話は聞いています。各支部でどのような具体的な活動をしてほしいのか、老人クラブと連携して、要望に合った対応をしていきたいと考えている。

審査意見

- 1 産業振興策を積極的に促進し、効果的な予算執行に努めること。
- 2 地域の実情に即した、公共交通ネットワーク体系を確立すること。
- 3 財政の一層の健全化に努め、各種事業を着実に推進すること。



高橋 伸二 議員

問 公共温泉事業は行政サービスの本質論からすると公益性が低く、運営にあたっては収支が重要視される。これまで2億円以上の税金をつぎ込んでいる現状は放置できない。

町長 平成20年以降、施設使用料の減少が続き、毎年度一般会計からの繰り入れが必要となっており、経営改善が必要と強く認識し

ている。赤字で良いわけはなく、さまざまな角度から圧縮していく。

問 赤字となった平成20年以降の「施策成果報告書」を見ると、温泉を取り巻く環境変化に対応する施策、経営改善の取り組み、施設の老朽化対策などの課題は述べているがそれに対してどのように対応するかが全く示されていない。

問 毎年税金から繰り入れしなければ温泉事業運営が成り立たない現状は深刻な問

題だ。早急に経営改善の取り組みが必要ではないか。

町民福祉課 長 収入の確保策、老朽設備対策なども含めた財政計画の策定に努める。

町長 数値データを基にした判断からの見解と思うが、町はその都度施策を提案し、議決を頂き実施してきた内容が多々ある。負担を頂いたことは認識している。



皆さんの来場を待つ「悠久の湯」

町民福祉課 長 収入が減る一方で、一般管理費が増え続けている。詳細に検証し、検証結果をベースに経営改善に向けた企画立案、達成目標の設定が必要ではないか。

問 コスト削減などの達成指標が必要

町民福祉課 長 今後、経営改善に向けた目標指数などを計画・策定し、その目標に向かって取り組む。

問 事業運営上、必要不可欠な出費は避けられないが、一般管理費のコスト削減の検証をどのように進めるか。

町民福祉課 長 目標指数を、経営コストの抑制、経営の効率化に向け取り組む。

悠久の湯の17年間のデータが物語る税金依存の経営実態。首長は「議決を頂き実施してきた」と強弁。税の公平性からも現状に横たわる課題に大胆にメスを入れる対策が求められる。

議員のひとりごと

Q 悠久の湯の運営実態は

A 経営改善が必要と認識している

Q コスト削減などの達成指標が必要

A 健全性確保の計画策定に努める

問 観光の町づくりを訴える平泉町が、入湯税を有効活用した観光の振興強化に投資することの効果は決して小さいものではない。

町民福祉課 長 収入が減る一方で、一般管理費が増え続けている。詳細に検証し、検証結果をベースに経営改善に向けた企画立案、達成目標の設定が必要ではないか。

問 観光の町づくりを訴える平泉町が、入湯税を有効活用した観光の振興強化に投資することの効果は決して小さいものではない。

町民福祉課 長 収入が減る一方で、一般管理費が増え続けている。詳細に検証し、検証結果をベースに経営改善に向けた企画立案、達成目標の設定が必要ではないか。

世界遺産特別委員会

世界遺産特別委員会が3月12日に行われ、これまで調査・検討した内容を次のとおりまとめ、委員会の報告としました。

調査意見

①世界文化遺産拡張登録について

世界文化遺産の拡張登録については、期限が迫る中※アツプストロームの探求など登録に向けた現実的な対応を期待する。

②世界農業遺産登録について

平成30年度の認定は叶わなかったが、東稲山麓の特徴を引き出しながら遺産価値の差別化やストーリー性の確立などの再構築を期待する。

③国立博物館誘致について



博物館誘致における視察研修（太宰府市 九州国立博物館）

容易ではない。国立博物館誘致についての調査は終了とする。

※アツプストロームとは：イコモス調査員の助言・協議等の支援を受けられる制度

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問とは、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問いたすものです。

平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

一般質問

●高橋 伸二 議員…P7

- ① 健康福祉交流館「悠久の湯」の運営実態の検証と経営改善計画の策定

●阿部 圭二 議員…P12

- ① 農業振興
- ② 町臨時職員の労働環境の改善
- ③ 教職員の負担の軽減

●佐々木一治 議員…P8

- ① 無量光院跡の全貌発掘とJR東北本線の線路移設
- ② 計画されている公民館、図書館、体育館の今後の計画

●氷室 裕史 議員…P13

- ① 高齢者の交通安全に対する当町の施策

●升沢 博子 議員…P9

- ① 新社会教育施設
- ② 協働のまちづくり

●佐々木雄一 議員…P14

- ① 消防設備の更新
- ② 公共交通
- ③ 監査のあり方

●三枚山光裕 議員…P10

- ① 国民健康保険税
- ② 新社会教育施設の整備

●高橋 拓生 議員…P15

- ① 産業振興策
- ② ふるさと納税
- ③ 鳥獣被害対策

●真筆 光幸 議員…P11

- ① 人口減少対策
- ② 水道事業

Q JRによる無量光院跡への影響は

A 視覚的関連性に問題はない



佐々木一治 議員

問 無量光院跡が一部をJR東北本線の線路により分断され、全体像と保護すべき価値が把握されていないことへの見解は。

教育長 世界遺産に登録された資産は確実に保護をしていく必要がある。コアゾーンの無量光院跡は、国指定特別史跡として文化財保護法のもと、厳密に保護されている。世界遺産に関

問 JRが無量光院跡を分断しているのは事実であり、JR移

してイコモスからは、無量光院跡と金鶏山との視覚的関連性は損傷を受けていないと評価を受けている。鉄道への指摘事項はない。視覚的つながりが妨げられないように展望を維持すること、そして、周辺を含めた景観改善を図っていくことが求められている。

設を含めた検討をすべきではないか。

教育長 JRの線路によって確かに一部が分断されているが、全体像の把握という観点で言えば、線路だけではなく、中尊寺通り、またその東側に位置する民家、そういったものも全て含まれるため、住んでいる方にも引越してもらい、それはいったもの現実的ではない。



JRに分断されている無量光院跡

問 今後発掘されるだろう伽羅之御所跡と白山社跡への見解は。

文化遺産 伽羅之御所跡、白山社跡、ともに当時の町をつくっていく上で重要な遺跡であったがこれについては、史跡指定をするという方向ではない。しかし、白山社の中の一部については既に史跡指定になっている。今後重要な遺跡として取り扱いをしていく。

Q 人口減少が進む中の箱物建設は適切か

A 計画どおり社会教育施設の建設を進める

問 人口減少が進む中の箱物建設は適切なか。

まちづくり推進課長 新社会教育施設は町民の要望を受けたものである。2年間の検討を経て、平成30年度から事業化している。人口減少のなか、むしろ逆に町の魅力をアップさせ、地域を元気にさせる施設にしていきたいと考えている。

問 なぜ、町の中心地に建設を予定するのか。郊外に作った方が、町全体の活性化につながるのではないか。

まちづくり推進課長 新社会教育施設については、候補が何力所があったことは公開してきたとおりである。今回の社会教育施設は、地域コミュニティ、地域の方々が寄り添い、集まりやすい、さまざまな要件が必要だろうと考えている。郊外にという考え方もあるが、中心部に近いところに建設すべきであるという結論に至った。

今から23年前、高速道路毛越寺PAにインターができたらと考えていた。これが現実となりそうである。2年後の開通に向けて工事が進んでいる。世界遺産無量光院跡全貌へ東北本線移設を願っている。

議員のひとりごと

Q 新社会教育施設の新たな機能は

A コミュニティセンター的な機能も

問 新社会教育施設について町民からの意見を聞いたが、意見は建設計画に生かされたか。

教育長 実施方針、要求水準書に町民の多くの意見が反映されるよう、取り組んでいく。

教育長 完成後の運営の基本的な考え方は、「人づくりの場」「各種講座

の開催の場」「情報交換の場」「コミュニティの交流の場」の4つである。

問 職員体制はどのような配置になるのか。

教育長 十分なサービス提供が可能になるよう公民館機能、図書館機能、子育て支援機能の専門性を理解のうえ誠意を持って対応できる人材を配置できるように取



今年度取得予定の建設予定地

教育次長 本年12月に事業者と事業契約を締結する予定である。その際は一括の契約となる。

問 情報発信機能や町民の交流を図る取り組みなど、従来の公民館とは違う施設になるのか。

教育次長 情報発信、進など、まさにコミュニティセンター的な機能を目指している。

問 運営は事業者に任せるとしても、町民活動に関する情報の収集と発信、活動の支援などの公共性の高い事業については町が行うべきではないか。

教育次長 基本的に社会教育は町が担わなければならない。人づくり、地域づくり、町づくりのための施設にしていきたいと考えている。ただ、一括契約のパ

升沢博子 議員

問 契約の仕方は、設計、建設、維持管理運営と一括の契約となるのか。

り組んでいく。また、町の職員である社会教育主事1名を配置する。

教育次長 基本的に社会教育は町が担わなければならない。人づくり、地域づくり、町づくりのための施設にしていきたいと考えている。ただ、一括契約のパ

Q 協働の町づくりの取り組みは

A 地域懇談会等で町民の意見を聞く

問 各行政区の人口減や高齢化などの課題に、行政区再編など具体的に取り組む時期ではないか。

町長 行政区の再編は考えていない。ただ、今後ますます少子高齢化が進むなか、様々な方策を検討していく。

問 人口減少は避けられず、その中で町民が工夫して自ら地域の課題に取り組む仕組みづくりが必要ではないか。その指針となる新たな協働の町づくり計画を作るべきでは。

まちづくり推進課長 当町の規模の町では町民懇談会や住民アンケートで町民の意向は把握できる。次期総合計画策定に向けて、町民の意見を聞く場を多く設けていく。

新施設は町民の活動拠点となる施設です。愛称募集などで、町の人たちの建物に対する期待感やイメージを膨らませてほしいと思います。

議員のひとりごと

Q 町民の意見を生かす努力は A 多くの意見を反映できるように



三枚山光裕 議員

問 新社会教育施設のワークショップで様々な意見が出た。どのような意見が出たのか。

教育長 もっと回数を重ねるべきではないかというような意見があった。

教育長 現在進めていて要求水準書に全て盛り込むことは不可能と考えるが、極力、水準書に盛り込めるように、現在、作業を進めている。

問 ワークショップ自体に意味がないのではないかという意見も出たが、そういった思いをした方々から、納得、

問 社会教育主事を1人



新社会教育施設建設に向けたワークショップ



早期の新築が待ち望まれる平泉公民館

置くと言つが、平泉の図書館条例には、「公民館に館長その他必要な職員を置く」となっている。公民館長は置かないということがか。

問 良い施設をつくらうと言つたが、新しい施設は施設長というふうなトップがいる形。事業者の中で誰かを配置する形。公民館長という職はなくなるのではないかと考える。

教育長 公民館の現在の二人体制について、まだ庁舎内で議論を深めていない。旧川崎村のようなホールは固定席のものは考えていない。

問 国保税の引き下げ、子どもの均等割の減免を

教育長 新年度予算の編成で、国民健康保険税の引き下げや子どもへの均等割について減免の検討をしたのか伺う。

町民福祉課長 平泉町1団体では難しい。例えば全国知事会を通じ、国に要望を行う取り組みをしてみたいかと考える。

問 宮古市が18歳までの子どもの保険税の全額減免を打ち出した。子どもは収入がない。引き続き深い議論をしてほしい。

町長 新年度予算編成と連動して議論してきた。国保税率の統一化や、保険給付費や国保事業費納付金の推移を注視する必要があるため、慎重に判断する。国保税の負担軽減については、均等割のみではなく、現行法の制度に基づき、引き続き検討していきたい。

問 新年度予算編成で、国民健康保険税の引き下げや子どもへの均等割について減免の検討をしたのか伺う。

議員のひとりごと

公民館、図書館は「誰のもの」か。町民の声を聴いてこそ良い施設に。同僚議員が予算審議で質問。「舞台は作る、音響も控室も検討」と答弁。声を上げ続けることが大事ですね。

Q 女性が働き続けられる企業誘致を A 雇用の場は必要と考える

問 若い人たちが結婚・出産・定住へ向かうための、雇用の場の創出は欠かせない。未就業の若者の就業を支援するため、職業訓練中の経済的な支援は検討できないか。

問 企業を誘致するにあたり、就業先選びのポイントとして、希望する就職先や勤務場所、居住したい場所などを把握する就労意識調査が必要ではないか。

問 育児休業が取得できるなど、女性が生涯働き続けられる環境のまちづくり、企業誘致の観点で考えられないか。

まちづくり推進課長 そのよう

まちづくり推進課長 職業訓練所で行っている講座等は紹介していきたいが、その間の生活支援は難しい。

まちづくり推進課長 町民の意識と未就業者の意識調査は必要と思う。地域の方々がどう考えているのか新年度に町民アンケートを実施したいと思っている。

問 女性の雇用促進策を可能な限り展開すべき。人口減少対策として若年層の経済的基盤を支え、結婚・出生率を上げ町内定住を図る総合的な政策が必要と考える。

町長 水道法

問 水道の水質が悪いとご意見をいただいた。原水と浄水の検査に異常はないか。

**Q 良質な水道水の供給に最善の努力を
A 水質基準はクリアしている**

建設水道課長 毎日浄水場の点検は行っている。残留塩素量は、ある程度下げることが可能と考える。給水管路末端の状況等ながら調査したい。

建設水道課長 鉛管の全部の撤去には、あと7年かかる。老朽管路布設替えは、主要管路優先で進めたい。

その他質問事項
・婚活支援策

育ての両立ができる企業の職場環境づくりを支援したい。

まずいのは残留塩素が多いからである。水質検査データを活用して、投入する塩素剤の量的調整の努力をすべきでないか。

問 鉛管の撤廃と、老朽管路の布設替えを、意見のあった地区を優先とすべき。



真筈光幸 議員

町長 地域未来投資促進法に係る助成金を活用し、就業と子

問 安全な水と美味しい水は違



計画的な水質検査の実施を

企業誘致は手段であって目的ではありません。その先にある人口減少対策として、若者の結婚・出産・定住を促進するための政策です。

議員のひとりごと

Q グリーンツーリズムの受け入れは

A 地域での対応は考えてみたい



阿部圭二 議員

問

グリーンツーリズムの受け入れの促進が必要だが、農家の受け入れ状況の推移はどのようになっているか。

問

増やすための方策は何をしているのか。

町長

受け入れは平成元々より毎年4校の受け入れて、最近10校前後の受け入れである。受け入れ農家は、33件程度で推移して今後も厳しい状況である。引き続き

農林振興課長

グリーンツーリズム推進協議会が中心となって各種研修会、補助金で支援、毎年、講習会も行っている。現在、宿泊、農業体験を別々に引き受けられる様になっている。

き支援していく。



農家は農業体験だけでも引き受け可能だ

問

いままで30年ほどグリーンツーリズムの受け入れをした方たちは、貴重で感動的な体験をしているが、周知が足りないのではないか。

農林振興課長

さまざまなページで発信、パンフ

問

現在、引き受けられている農家の隣近所が引き受ければ増えると思われるが、地域での歓迎会等の開催で隣近所に見える活動が必要だと思いができないか。

農林振興課長

各行政区に5軒とかの受け入れが出来ればいいが、また、その状況ではない。地域での対応は学校との関係もあるので考えてみたい。

レット等でPRしていきたい。

Q 給食費の公会計化は

A 今後、協議し検討する

問

現在、給食費の会計はどのようにしているのか。

教育長

現在、学校ごとに私会計で

問

教職員の負担軽減のために、学校給食費を公会計にすることは可能か。

教育長

昨年2月に文科省からの通知で、学校が担う業務を3つに分けて考えている。給食費は学校以外が担う業務で、教育活動に専念するための支援体制が必要になる。一関市でも平成32年度から公会計に取り組みようだが、当町では今後の検討課題である。



給食費を公会計に

その他質問事項
・町臨時職員の労働環境の改善

この町の未来を担っているグリーンツーリズムは生徒だけでなく、生徒が親になって「また来たい」「住みたい」、を作り出せるもの、農家民泊につながるもので本腰を入れていきたい。

議員のひとりごと

Q 町道祇園線の交通の今後は

A 県公安委員会と協議していく

問

スマートインターチェンジ開通に伴う近隣の交通リスクへの対応策は。

町長

県道との接続道である町道祇園線は、交差点形状や交通安全施設などの交差点協議を岩手県公安委員会と行い、その協議結果を設計に反映させる考えである。交通事故防止に向けた取り組みも平泉スマートインターチェンジ

の供用開始後は警察署、交通指導隊等の関係機関と連携を図っていく。

問

県公安委員会と協議を行う際に近隣住民からのヒアリングを行うことは。

建設水道課長

極力、地域住民の方々の意見も参考にしながら、協議を

していきたいと考えている。

問

以前の一般質問で、渋滞緩和と利便性を考慮して、いすゞの裏を通る道と国道を接続させてはどうかという話を取り上げたが、その協議は進んでいるか。

建設水道課長

また、具体的な協議は行っていない状況である。

Q 町の公共交通の今後は

A 見直し作業にかかっている

問

免許証の自主返納を推進しない形で、高齢者の交通安全担保はどのようなものか。

町長

要請のあった行政区での交通安全教室の開催や、高齢者の在宅家庭訪問を実施

問

当町では免許証の自主返納へのサポートは無いという認識でよいか。

町長

自用車にかわる移動手段の確保について、支援策を含めて考慮していく必要があると認識している。

問

具体的に移動手段の確保とは何を指しているのか。

まちづくり推進課長

統一された形にはならないが、各地区の現状に合わせ、より良い方法を新年度中にある程度の方向性で示せるよう考えている。

問

町内で何かしらの新しい移動手段の確保があるという認識でよいか。

スマートインターチェンジが開通し、利便性が高まると様々な人が活用すると思われるが、近隣住民の安全は担保されて当然である。しっかり地域住民の意見を聞き、それを組み入れ、醸成させてほしいものである。

議員のひとりごと

Q 消防団の消防車の更新は

A 20年以上の車を計画的に更新している



佐々木雄一 議員

対応が変化している。火災件数失火件数とも減少しているが、高価な装備でなければいけないのか。

総務課長 万が一に備え、必要最小限の水量を確保し、迅速な消化活動を支える消防設備は必要と考える。

問 消防設備の更新はどのようにして決めているのか。

答 プレ車 購入費が6000万円とあるのは。

町長 消防業務は一関消防本部に委託している。消防設備は平泉町で配備・更新している。

総務課長 平成3年3月配備（1590万円）の消防車で28年が経過しようとしている。購入車両価格であり四輪駆動となっている。

町長 車両更新基準は設けていないが、一関消防本部を参考にしている。

問 31年度予算に消防車（水槽付ポンプ車）を計画的に更新している水槽付きポンプ車（平泉分署）



更新を予定している水槽付きポンプ車（平泉分署）

問 非常備消防（地域消防）の20年以上のポンプ車は何台か。

総務課長 7台で、26年が最長で、それ以外では、役場の特設消防の車両が30年である。

問 交通網計画の策定は

A 計画に代わる方針により対応する

問 地域公共交通網形成計画は。

町長 一関市などは策定中だが、委託費用など多額の費用が必要になる。当町では、計画を策定する予定はない。計画と同等の効果を得られる方針を固めることにより、望ましい公共交通体系をつくっていく。

町長 交通網から外れた地域の救済は

問 地域住民の意見を聞く機会は設けないのか。

まちづくり推進課長 地域懇談会等で意見を吸い上げて、会議に反映しより良い公共交通に

高価な装備と安全は比例しないと思うが、新たな発想で防火に取り組んでいただきたいものです。

議員のひとりごと

Q ふるさと納税を、産業振興策に

A 町のPRも含め検討していく

問 ふるさと納税の状況と対応は。

町長 納税の寄附状況は、28年度25件110万円、29年度27件214万円、30年度27件27件275万円の状況。29年度に返礼品の拡充、30年度からポータルサイトに返礼品を掲載して対応している。

町長 返礼品の還元率3割以下、返礼品は地場産品に限るとの通知が来ているが、当町は概ね総務省の趣旨に沿ったものとなっている。

問 当町の納税額は、県内34市町村中33位である、ポータルサイトでのクレジット決済、返礼品を更に拡充、返礼品還元率10%から30%に、返礼品の

総務課長 31年度からポータルサイトで行う。返礼品は30年度から30品目に増やしたが更に30品目に増やした方が

事業者名、商品説明を表記し納税環境を変え寄附を増やすべきでは。

問 きたかみチョイスでは返礼品の事業者者に販路開拓、商品開発等、地場産業育成まで行い、約10億円納税額を確保している。当町でも納税環境を改善し、町内の民間事務委託を検討しながら地域活性化に繋げ納税額を増やすべきでは。

町長 従来も検討して改善しているが、今後町内の団体とも連携しながら納税額の向上に努めていきたい。

町長 長施政方針にある、平泉町特産品開発支援事業、ふるさと名物応援宣言について伺う。

町長 ふるさと名物応援宣言は地域資源をふるさと名物として、情報発信を行い地域ブランドの創出を目指し経済産業省が取り組んでいる事業である。町内事業者が技術、地場産品を使い広く発信できる加工品を特産品と位置付け開発、販売促進等の経費50万円上限に事業費の2分の1を補助し、地域経済の活性化等を推進していく。

町長 三陸鉄道開通、ラグビーワールドカップ開催等を機に誘客、消費の拡大を目的に3月21日～11月10日まで開催予定、S.L.銀河、金色の風号、シパンク平泉号企画列車運行も計画されている。併せて中尊寺本堂平山郁夫展、毛越寺特別名勝指定60周年記念写真展を計画している。

その他質問事項
・鳥獣被害対策



高橋拓生 議員

これまでの寄附金額			これまでの事業への活用状況		
これまでの寄附金額は以下のとおりです。たくさんのご寄附ありがとうございます。			平泉町では、お寄せいただいた寄附金を「平泉町ふるさと応援寄附基金」として積立て、保健・福祉・教育の充実事業、歴史と文化の醸成事業、環境保全事業、産業振興事業などに活用しています。		
年度	件数	金額	年度	事業名	基金充当金額
平成20年度	5件	4,100,000円	平成24年度	町道の維持保全事業	5,000,000円
平成21年度	9件	910,000円	平成25年度	無量光院跡保存修理事業	14,000,000円
平成22年度	2件	200,000円	平成28年度	小学校野外運動場環境改善事業	4,000,000円
平成23年度	9件	15,218,200円	平成29年度	中学生英語能力向上事業	1,000,000円
平成24年度	7件	5,713,500円			
平成25年度	13件	2,664,440円			
平成26年度	12件	941,880円			
平成27年度	12件	1,099,160円			

ふるさと納税の寄附金額、事業の活用状況

問 産業振興策としての条例の役割について伺う。

A 次期平泉町総合計画で策定していく

問 県、JRが取り組む「いわて幸せ

当町の鳥獣被害額は平成28年、29年約1,000万円である。今後、更なる鳥獣被害対策を補助制度等を活用しながら、担当課、猟友会、地域住民と連携し取り組んで頂きたい。

議員のひとりごと